

会計名			市民講座開設事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		小垣江市民センター		
款	項	目					担当係		小垣江市民センター		
10	5	8									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	学習機会の充実								
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。				主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期と後期に分けて約3か月間で開設し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を提供する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	社会教育法								
		対象者	市内在住・在勤または在学の人				事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	・市民講座開設数 6講座		・市民講座開設数 6講座		・市民講座開設数 6講座		・市民講座開設数 6講座		
・市民講座受講者数 105人			・市民講座受講者数 104人		・市民講座受講者数 114人		・市民講座受講者数 115人				
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資するとともに、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。									
		課題	市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標名称（単位）					実績値			目標値			
成果指標		市民講座受講者数（人）					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
指標											
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。										
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		641	773	722	742	合計		721,580 円		
	財源	特定財源	88	87	87	90	報償費		572,000 円		
		一般財源	553	686	635	652	需用費		54,320 円		
	職員人件費 ②		3,836	3,982	3,721	3,810	役務費		21,000 円		
	総事業費（①＋②）		4,477	4,755	4,443	4,552	使用料及び賃借料		74,260 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		講座受講料					
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			市民講座開設事業		担当部	教育部
一般会計					担当課	小垣江市民センター
款	項	目			担当係	小垣江市民センター
10	5	8				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加促進に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	引き続き各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			学習発表会実施事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		小垣江市民センター	
款	項	目					担当係		小垣江市民センター	
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	小垣江市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。				主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、小垣江市民センター全館で実施する。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法							
	対象者	小垣江市民センター利用団体及び地域住民				事業期間	平成2年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		2月4日（日） ・参加団体数 10団体 ・参加者数 78人 ・入場者数 300人		2月9日（日） ・参加団体数 14団体 ・参加者数 128人 ・入場者数 276人		※衆議院議員選挙実施により中止		2月上旬開催 ・参加団体数 15団体 ・参加者数 200人 ・入場者数 350人		
成果		開催予定日が急遽、選挙投票日となり、当センターが投票所となった。会場確保等の理由により開催日を延期することが不可能であり、中止とした。代替として、希望団体による作品展示ブースをロビーに設置し、来場者に作品を見てもらう機会を創出した。								
課題		参加者の高齢化が進んでおり、それを理由に解散した団体が本年度複数あった。市民講座参加者などに活動の継続を促すことによって、団体の数を増やしていくが必要になる。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		参加団体数（団体）				10	14	—	15	20
成果指標		来館者数【参加者数＋入場者数】（人）				378	404	—	550	600
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		341	341	27	344	合計	27,165 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	27,165 円		
		一般財源	341	341	27	344				
	職員人件費 ②		1,995	2,071	1,323	1,355				
	総事業費（①＋②）		2,336	2,412	1,350	1,699				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	小垣江市民センター
款	項	目		担当係	小垣江市民センター
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	小垣江市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	小垣江市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。				

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	小垣江市民センター	
款	項	目					担当係	小垣江市民センター	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
		目的	生涯学習施設（小垣江市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。		主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民		事業期間	昭和61年度～			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
		・小垣江公民館利用者数 15,579人 ・施設利用率 31.3%		・小垣江公民館利用者数 13,895人 ・施設利用率 26.8%		・小垣江公民館利用者数 13,576人 ・施設利用率 25.1%		・小垣江公民館利用者数 16,000人 ・施設利用率 33.0%	
成果		身近な学習施設である小垣江市民センターで、年代を問わず公民館利用者が気楽に利用できるよう住民の利便を図り、生涯学習の場を提供できた。							
課題		公民館利用団体の中には会員数が減少傾向にある団体があるため、一般の来館者向けに各団体の活動内容を広報することで参加を促すなど、公民館利用者数や施設利用率を増やす取組が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		小垣江公民館利用者数（人）		15,579	13,895	13,576	16,000	17,000	
成果指標		施設利用率（%）		31.3	26.8	25.1	33.0	35.0	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費①		14,895	15,669	15,123	16,152	合計	15,122,578円	
	財源	特定財源	1,601	1,257	1,143	1,272	需用費	3,510,453円	
		一般財源	13,294	14,412	13,980	14,880	役務費	143,874円	
	職員人件費②		6,138	6,371	3,721	4,233	委託料	11,306,991円	
	総事業費（①+②）		21,033	22,040	18,844	20,385	使用料及び賃借料	161,260円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0		市民センター使用料			
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			施設改修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		小垣江市民センター	
款	項	目					担当係		小垣江市民センター	
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	設備の老朽化への対応及び設備内に含まれるPCB（ポリ塩化ビフェニル）を国の定めた期限内に処理するため。				主たる内容	○高圧受変電設備改修			
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	社会教育法、市民センター条例、公民館条例							
	対象者		市民			事業期間	令和7年度～			
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・防犯カメラ改修工事1件				・高圧受変電設備改修工事1件					
	成果		設備の改修により、既設設備内で使用されていた低濃度PCB（ポリ塩化ビフェニル）含有機材を法律に定められている処分期限までに処理する手続を進めることができた。							
	課題		処理する低濃度PCB（ポリ塩化ビフェニル）含有機材は現在、保管しており、今後、処分の手続を進め、期限までに処分を完了する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	工事件数（件）			1	－	1	－	－	
	指標									
	他市との比較検証		法律に定められた期限をもとに、全国の各自治体において計画的に処分を実施している。							
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		2,640	0	27,830	0	合計	27,830,000 円			
財源		特定財源	0	0	13,000	0	工事請負費	27,830,000 円		
		一般財源	2,640	0	14,830	0				
職員人件費 ②		2,686	0	2,067	0					
総事業費（①＋②）		5,326	0	29,897	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金				
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			小垣江市民センター大規模改造事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		小垣江市民センター	
款	項	目					担当係		小垣江市民センター	
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	建物の目標耐用年数（80年）を目指し、施設を改修することで、施設の安全性や機能性を確保するため。				主たる内容	築後40年である令和9年度での大規模な改修を目標に、本年度に基本設計を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	令和7年度～令和9年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
					・設計業務委託 1件					
	成果	管理上の問題点を解消する内容を設計に盛り込むことができた。また、施設の利用者に対してアンケートを実施し、利用者からの要望を把握したうえで、委託業者や関係課との打ち合わせを行うことができた。								
	課題	事前に把握していた問題点や利用者からの要望について、法律での規制や予算上の限界により、改善できなかった点もあった。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	打ち合わせ回数（回）			-	-	6	-	-	
	指標									
他市との比較検証	全国の各自治体では、本市と同様に維持保全計画のもと、計画的に施設改修を実施している。									
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	11,550	0	合計	11,550,000 円		
	財源	特定財源	0	0	5,000	0	委託料	11,550,000 円		
		一般財源	0	0	6,550	0				
	職員人件費 ②		0	0	3,308	0				
	総事業費（①+②）		0	0	14,858	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0	公共施設維持保全基金繰入金					
		9年度以降の事業費見込		0						